



教育セミナー2

サイトメガロウイルス

～古いウイルス、

新しい知見、将来への課題

日時

2019 年 4 月 19 日 (金)

12 : 30 ~ 13 : 20

会場

第 2 会場

(石川県立音楽堂 2F 邦楽ホール)

座長

岡 明

先生

東京大学医学部小児科 教授

演者

森内 浩幸

先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・小児科学 教授

本会教育セミナーは整理券制となります。参加希望の方は、下記配布場所・日時で整理券をお受け取りください。

【整理券配布場所】石川県立音楽堂 B1F 交流ホール

【整理券配布時間】4月19日(金) 7:45 ~ 12:00

※整理券はセミナー開始と同時に無効となります。

先天性サイトメガロウイルス（CMV）感染の診断は、生後 21 日以内の尿を検体として核酸増幅法によって CMV ゲノム DNA を検出することが必須であり、待望の診断キットが保険収載された。

せっかくの診断の機会（そしてそれに続く治療介入のオプション）を逃すことがないように、下記のような状況では積極的に検査を進めて欲しい。

どのような新生児に先天性CMV感染の検査が必要か？



胎児エコー/MRI
の所見が先天性
CMV感染症に合
致する



母体に妊娠中の
CMV初感染が疑
われる*

- CMV-IgG陽転
- CMV-IgM陽性
+ IgG Avidity
Index低値



先天性CMV感染
症に合致する症
状が認められる
(→次のスライド)



新生児聴覚
スクリーニング
(NHS) でrefer
(要精査)と
された**

*妊婦の感染の多くは不顕性または非特異的な症状

**NHS refer児をTargeted CMV
screeningの対象とする試みもある

※日本耳鼻咽喉科学会『新生児聴覚スクリーニングマニュアル』より引用

先天性CMV感染に伴う症状・所見

臨床的に認められる症状

- SGA(出生時体重 < -2SD)
- 小頭症(頭囲 < -2SD)
- 出血斑
- ブルーベリー・マフィン皮疹
- 病的黄疸
- 肝腫大
- 脾腫大
- 神経学的異常(嗜眠、筋緊張低下、痙攣、吸啜反射減退など)

偶然または精査の過程で見つかる所見 〈検査所見〉

- 血小板減少
 - 貧血、白血球(好中球)減少
 - 総IgM上昇
 - AST/ALT上昇
 - 直接(抱合型)ビリルビン上昇
 - 髄液: 検査値異常、CMV DNA+
- ### 〈脳画像検査〉
- 石灰化、脳室周囲嚢胞、脳室拡大、上衣下偽性嚢胞、白質異常、皮質萎縮、神経細胞異常障害、小脳低形成、レンズ核線条体血管症など
- ### 〈聴力検査〉
- 片側または両側の感音性難聴
- ### 〈眼科的所見〉
- 脈絡網膜炎、網膜出血、視神経萎縮、斜視、白内障